

# JIS

## 耐火物の熱膨張の試験方法一 第2部：円筒試験片を用いる接触法

JIS R 2207-2 : 2007

(TARJ/JSA)

平成 19 年 10 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 窯業技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	植 松 敬 三	長岡技術科学大学
(委員)	安 藤 秀 征	黒崎播磨株式会社
	鷗 澤 孝 夫	硝子繊維協会
	荻 原 行 正	鹿島建設株式会社
	小 澤 宏 一	JFE スチール株式会社
	片 山 康 三	セントラル硝子株式会社
	阪 井 博 明	日本ガイシ株式会社
	永 田 康 久	東邦テナックス株式会社
	町 田 隆 志	株式会社日立製作所
	山 内 幸 彦	独立行政法人産業技術総合研究所
(専門委員)	福 永 敬 一	財団法人日本規格協会

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 19.10.20

官 報 公 示：平成 19.10.22

原 案 作 成 者：耐火物技術協会

(〒104-0061 東京都中央区銀座 7-3-13 ニューギンザビル TEL 03-3572-0705)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：窯業技術専門委員会 (委員長 植松 敬三)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 原理	2
5 装置及び器具	2
6 試験片	6
6.1 試験片の形状	6
6.2 試験片の調製方法	7
7 操作	7
7.1 試験片の測定	7
7.2 参照試料の測定	7
8 計算及び作図	7
9 試験報告	10
附属書 A (参考) 参照試料の線熱膨張率及び線熱膨張係数の推奨値	11
解 説	12

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、耐火物技術協会(TARJ)及び財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

これによって、**JIS R 2207:1976**、**JIS R 2555:1981**、**JIS R 2577:1981** 及び **JIS R 2617:1985** は、廃止され、この規格群に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に係る確認について、責任はもたない。

**JIS R 2207** の規格群には、次に示す部編成がある。

**JIS R 2207-1** 第 1 部：非接触法

**JIS R 2207-2** 第 2 部：円筒試験片を用いる接触法

**JIS R 2207-3** 第 3 部：棒状試験片を用いる接触法

# 耐火物の熱膨張の試験方法— 第2部：円筒試験片を用いる接触法

## Test methods for thermal expansion rate of refractory products— Part 2: Contact method using cylinder test piece

### 1 適用範囲

この規格は、耐火物の線熱膨張率、線熱膨張率曲線及び線熱膨張係数を求めるための、円筒状試験片を用いる熱膨張の試験方法について規定する。

**注記** 耐火物の熱膨張の試験方法は、JIS R 2207-1、JIS R 2207-2 及び JIS R 2207-3 の規格群によって構成される。この規格群における特徴を、表 1 に示す。

表 1—この規格群における特徴

適用区分	第1部：非接触法	第2部：円筒試験片を用いる接触法	第3部：棒状試験片を用いる接触法
小さな粒で構成される耐火物	◎	◎	◎
大きな粒を含む耐火物	◎	◎	△
軟化しやすい耐火物	○	△	△
荷重を負荷した測定	×	◎	○
荷重を負荷しない測定	◎	×	×

**注記** ◎：最適な試験方法 ○：適用できる △：目的によって適用できる ×：適用できない

### 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 7507 ノギス

JIS B 7524 すきまゲージ

JIS B 7526 直角定規

JIS C 1602 熱電対

JIS R 2001 耐火物用語

JIS R 2207-1 耐火物の熱膨張の試験方法—第1部：非接触法

JIS R 2553 キャスタブル耐火物の強さ試験方法

JIS S 6032 プラスチック製定規

JIS Z 8401 数値の丸め方

### 3 用語及び定義